

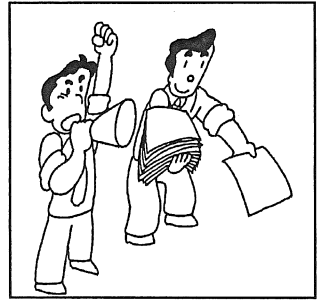
543号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

第49回 全国検数労連定期全国大会開催 全組合員が一丸となって、組織強化・拡大に奮闘しよう



【16年度運動の経過】
16年度運動の総括では、大手船社の再編や邦船3社のコンテナ部門の経営統合、AEO制度やインランドデポの拡充などが加速する中で、検数労連の運動方針である『仕事と収入の確保』を基

9月8日(金)～9月9日(土)にかけて、豊橋シーパレスリゾートで『第49回 全国検数労連定期全国大会』が開催され、16年度の運動の総括と17年度運動方針(案)について、活発な議論がされました。
また、今定期全国大会に来賓として挨拶に来てくださった全国港湾・系谷欽一郎中央執行委員長、全労連・長尾ゆり副議長、交運共闘・相木伸之副議長をはじめ、激励のメッセージを送っていただいた共闘関係の皆様には、紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

本に全労連や全国港湾に結集し運動を取り組んできた経過が報告されてきました。
代議員からは日検企業対策として、週休2日制の協議経過や定年延長制度の課題、春闘時での時間外分母前進の成果や長時間労働の解消についての取り組みなどの報告がされました。
全日検の企業対策では、今年度の経過の特徴である職員Bの退職金創設や大会後に始まる秋年末闘争に向けて、要求を確立していくことの報告がされました。
また、両協会に対しての意見としては、春闘や一時金交渉時に両協会は度々『体力を超えた回答』として提示してくるが、回答の本質部分の追求として、収支状況の分析を行うべきとの意見も出されました。

【17年度運動方針】

17年の運動方針では議案書に基づいて提案がされ、全体の拍手で承認がされました。

要求の前進を実現させるため、全労連・国民春闘共闘・交運共闘・全国港湾に結集し、要求に確信をもった運動を展開していく必要がある。いま、時代に即した運動が求められることから職場の創造力と全組合員の英知を結集させながら『くらし、雇用、平和を守る運動』『雇用の維持、拡大』生活の安定に向けた経済要求の前進『組織拡大・強化』の4点を基調とした検数労連運動の前進をはかっていくことを確認しました。
産別政策課題のひとつである『検査事業の指定事業体対策』に

【2017年度中央役員体制】

中央執行委員長	瀬戸 修 (新)
中央副執行委員長	山田 拓 (再)
同	石井 和正 (新)
中央書記長	光部 泰宏 (再)
中央書記次長	石渡 周二 (再)
中央執行委員	沖原 勝治 (新)
会計監査	加地 俊永 (再)
会計監査	木村 文章 (再)

については、指定事業体からの採用を積極的に進める取り組みを行うことを確認しました。
組織拡大・強化については、特に組織拡大については要求実現への近道と位置づけ、中央と地域で連携を図りながら進めていくことを確認しました。
長時間労働対策については、解消に向けた実効性のある協議の具体化に向け、中央と地域が共通認識のもと、時間外に依存しない賃金の確立に向け、賃金引き上げを前提に取り組みを進めることを確認しました。
全体的には、検数事業が果たしている役割を全体で認識し、生活の安定に向けた取り組みとして『仕事と収入の確保』運動を日常活動の実践課題と位置づけ、取り組みを強化していくことを確認しました。
今年度も一年、共に頑張りましょう。

**組合員の皆様
左記メンバーで、
今年度も精一杯頑張
ってまいりますので、
よろしくお願いします。**

